

令和8年4月吉日

学校法人国際医療福祉大学理事長 高木邦裕  
国際医療福祉大学学長 鈴木康裕  
国際医療福祉大学社会保障政策研究所長 矢野康治

「医療と消費税に関するシンポジウム」開催のご案内

拝啓 陽春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学の教育・研究活動に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済のインフレ転換が鮮明になるなかで、設備投資コストや人件費の高騰が病院経営を強く圧迫しております。その背景にある重大な要因の一つが、現在の非課税制度下において医療機関が負担し続けている「控除対象外消費税（損税）」の問題です。病院経営の持続性と患者サービスの向上を両立させるためには、この複雑な医療費の構造を解き明かし、医療サービスにおける消費税の位置づけを抜本的に再考する必要があります。

つきましては、本学社会保障政策研究所と読売新聞社との共催により、下記の通り「医療と消費税に関するシンポジウム」を開催する運びとなりました。

本シンポジウムでは、この問題を単なる医療界の要望にとどめず、医療サービス提供の持続可能性を含む社会保障の政策課題として位置づけ、現行の診療報酬による補填の構造的限界を明らかにし、具体的な解決策と改善の方向性について、各界の有識者を交えて議論を深めてまいります。

ご多用の折とは存じますが、ぜひご参加賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

【開催概要】

■テーマ

「医療提供体制を蝕む‘見えない税負担’一病院と患者を消費税の苦境から救うために」

■日時：2026年5月9日(土)14:00～17:00(終了後、情報交換会を予定)

■会場：国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス 大講堂

■主催：国際医療福祉大学社会保障政策研究所 読売新聞社

■資料代 1,000円 情報交換会参加費 6,000円



【プログラム(予定)】

14:00

● 開会

オープニング

高木 邦格 理事長(学校法人国際医療福祉大学)

14:10

● 来賓挨拶

シンポジウムに寄せて

仁木博文 厚生労働副大臣

梅村聡 衆議院議員

14:30

● 第一部

問題提起

上竹良彦 特任教授(元国税庁消費税室長・高松国税局長)▽大林尚 特任教授(元日本経済新聞論説委員)▽伊藤伸一 日本医療法人協会会長▽水谷忠由 厚生労働省医政局総務課長  
▽今村英仁 日本医師会常任理事

15:40

● 第二部

パネルディスカッション

モデレーター:鈴木康裕 国際医療福祉大学学長

パネリスト:塩崎恭久 元厚生労働大臣、神野正博 全日本病院協会会長

矢野康治 国際医療福祉大学社会保障政策研究所長、堀真奈美 東海大学教授

16:40

● クロージング

総括・閉会挨拶

相澤孝夫 日本病院会会長/鈴木 康裕 学長

【お申し込み方法】 右記の専用フォームよりお申し込みください。なお、参加費(資料代・情報交換会参加費)は事前振込にてお願いいたします。振込名義欄には所属団体名および個人名をご併記ください。(例:〇〇イリョウハウジン スズキ タロウ)

振込先:みずほ銀行 赤坂支店(店番 539) 普通預金

口座番号 8059535

口座名義 学校法人国際医療福祉大学 ガク)コクサイイリョウフクシダイガク



なお、会場の都合により定員に達した場合は、先着順とさせていただきます。

【本件に関するお問い合わせ先】 国際医療福祉大学 広報部(担当:塚田)

Email:[tokyo.pr@ihwg.jp](mailto:tokyo.pr@ihwg.jp)

以上